

月刊「いいテク・ニュース」Vol. 128【最新開催セミナーご案内！】

□ ■ (株)技術情報センター _____ ■ □
「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～
☆☆☆☆【4月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆
□ ■ _____ 2015. 3.19 Vol.128 ■ □

今週のように暖かな天候が続くと、柔和な夜気の中、春の星はかすかに潤んだように見えます。

光は淡いが優しさや暖かさが感じられます。

春分のころ南の空には獅子座が、北東には北斗七星が見られます。

春の星ひとつ潤めばみなうるむ
柴田白葉女(しばた はくようじょ) (1906-1984)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第128号をお届けいたします。

今回も2015年 4月開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報15タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでお読みいただくとありがたく存じます。

□ ■ _____ ■ □
index
□ ■ _____ ■ □

◇セミナー情報[2015年 4月開催セミナー/19件]
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

◇おすすめセミナーPick Up
【4月21日(火)
『技術者・研究者のための
英語プレゼンテーションの基本と実践』セミナー
～正しい準備法、技術英語表現、質疑応答のテクニック～】
<http://www.tic-co.com/seminar/20150403.html>

◇新規取り扱い書籍情報(15タイトル)
<http://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について
<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇雑記帳
<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201503.html>

□ ■ _____ ■ □
セミナー情報
[2015年4月開催セミナー/19件]
□ ■ _____ ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

■ 4月9日(木)-----

～漏れ現象(密封理論)を正しく理解し、シールを正しく行うための～
漏れのメカニズムとガスケット・パッキンの正しい選定・使い方及びトラブル対策
<http://www.tic-co.com/seminar/20150401.html>

■ 4月10日(金)-----

圧力容器／圧力設備における供用適性評価と強度設計技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20150404.html>

■ 4月10日(金)-----

—環境の観点から考える—
小規模火力発電事業におけるビジネスチャンスとリスク
～最新の環境保全技術の紹介と、最近の小規模火力発電ビジネスに関する動向～
★＜アカデミック割引＞対象★
<http://www.tic-co.com/seminar/20150418.html>

■ 4月14日(火)-----

トヨタ自動車など200社総勢15,000人以上への現場コンサル経験をもとに、
明日から使えるキーポイント、マネジメントを解説する—
研究・開発・設計部門の部・課長・リーダーのための
知力生産性向上とマネジメント革新メソッド
～「研究開発プロジェクトの成功」と「人と組織の成長」を実現する
マネジメント革新「インパクト・メソッド」の実践ノウハウ～
<http://www.tic-co.com/seminar/20150406.html>

■ 4月14日(火)-----

植物工場の海外展開と取り組み
～講師6名(千葉大学、日本総合研究所、トーマツ、三菱樹脂アグリドリーム、
パナソニック、GEコンシューマープロダクツジャパン)による充実のラインナップ～
★＜アカデミック割引＞対象★
<http://www.tic-co.com/seminar/20150411.html>

■ 4月15日(水)-----

～プラント建設プロジェクトを焦点とした～
エンジニアのための設備コストの見積法入門
<http://www.tic-co.com/seminar/20150402.html>

■ 4月15日(水)-----

メタン発酵プロセスの設計・適用法、運転管理技術と
バイオガスの精製・利用、消化液処理技術と設計法
★＜アカデミック割引＞対象★
<http://www.tic-co.com/seminar/20150412.html>

■ 4月16日(木)-----

分離・脱水技術のポイントと実践活用法
～分離脱水のメカニズムから、各種分離機・脱水機の特徴・高性能化・
開発動向と使用例を含めた選定及び操作・保守管理における留意点まで～
<http://www.tic-co.com/seminar/20150405.html>

■ 4月16日(木)-----

—燃料電池車(FCV)搭載用、水素ステーション用などを含めた—
高圧水素容器、タンクに関する技術開発動向と
要求仕様・規格及び設計留意点、展望
～CFRP複合容器、アルミライナー、容器・配管用非金属材料、
高圧鋼製蓄圧器、水素吸蔵合金低圧タンク、ハイブリッド容器・バリア材料など～

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150416.html>

■ 4月17日(金)-----

プロットプランと主要機器装置周りの配管計画及び
主要材料の設計・規格における留意事項

<http://www.tic-co.com/seminar/20150407.html>

■ 4月17日(金)-----

1,4-ジオキサン排水規制対策(分解・処理技術)と
ジオキサン処理を含めた新しい水処理技術動向
～紫外線照射法、生物処理+AOP処理、活性炭素繊維利用、1,4-ジオキサン分解菌、
マイクロ波励起無電極ランプを用いた水処理、電解法を用いた新規促進酸化処理～

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150410.html>

■ 4月21日(火)-----

技術者・研究者のための英語プレゼンテーションの基本と実践
～正しい準備法、技術英語表現、質疑応答のテクニック～

<http://www.tic-co.com/seminar/20150403.html>

■ 4月22日(水)-----

一講師6名(日本海事協会、DNVGL、日本郵船、三浦工業、住友電気工業、
パナソニック環境エンジニアリング)による充実のラインナップ
バラスト水処理装置(BWMS)と搭載に関する最新動向
～条約ならびにIMOの最新動向から、日本海事協会の対応・取組み、
USCG型式承認、装置据付における船級承認、日本郵船の取組み、
各メーカーの装置とレトロフィット工事、搭載事例など～

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150413.html>

■ 4月22日(水)-----

集光型太陽熱発電(CSP)の要素技術と開発動向

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150417.html>

■ 4月23日(木)-----

セレン含有排水(汚泥焼却灰など含む)の処理技術

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150409.html>

■ 4月23日(木)-----

水素ステーション関連ならびに水素要素技術・設備開発と今後の展望

★<アカデミック割引>対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150415.html>

■ 4月23日(木)-----

LNG受入基地の設備・運用及び相馬LNG建設工事と
FSRUを含めた設備・装置・要素技術開発動向

★個別(I～IV or V～VII)受講可能!!★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150419.html>

■ 4月24日(金)-----

海外(アジア)環境法規制の最新動向と対応

<http://www.tic-co.com/seminar/20150408.html>

■ 4月24日(金)-----

—褐炭、亜瀝青炭など低品質石炭の利用—
低品位炭利用に関する要素技術開発の最新動向
～二塔式ガス化炉(TIGAR)、石炭ガス化技術(ECOPRO)、
溶剤改質技術、イオン交換能を活用した高度利用法～

★＜アカデミック割引＞対象★

<http://www.tic-co.com/seminar/20150414.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2015年4月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

■ 2015年6月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-06.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ -----
おすすめセミナーPick Up
 ■ -----

今回のPick Upセミナーは

『技術者・研究者のための
英語プレゼンテーションの基本と実践』
～正しい準備法、技術英語表現、質疑応答のテクニック～

です

英語でプレゼンテーションを行うことになった時、必ず役立つテクニックの
数々を伝授！！

本セミナーでは、研究発表・製品説明等の場で、英語を使って上手くアピ
ールするためのノウハウを、日本で数多く英語プレゼンの実践指導をされ
ていらっしゃるアントニ ローレンス先生にわかりやすく解説頂きます。

●講 師 早稲田大学 理工学術院
理工系英語教育センター 教授 アントニ ローレンス 氏

<講師紹介>

1970年生まれ

1993年4月岡山理科大学理学部情報工学科講師

2004年4月早稲田大学理工学術院

理工系英語教育センター助教授

2009年4月早稲田大学理工学術院

理工系英語教育センター教授

2002年バーミンガム大学(英国)大学院博士課程修了

(応用言語学 Ph.D.)

理工系英語教育センター長(2008年度～2010年度)

理工系英語教育センター技術英語コーディネーター

(2004年4月より現在に至る)
専門分野:テクニカルプレゼンテーション・リーディング・
ライティング・教育工学、コーパス言語分析。

<著書(共著)>

Contemporary Corpus Linguistics (Continuum),
Presenting Research in Science and Engineering
(DTP Publishing),
Concept Building and Discussion: Foundations
(DTP Publishing),
Concept Building and Discussion: Applications
(DTP Publishing),
21世紀のESP—新しいESP理論の構築と実践(大修館書店),
ESP的バイリンガルを目指して-大学英語教育の再定義
(大阪大学出版会)

●日 時 2015年 4月 21日(火) 9:45~16:45

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・4F会議室

●受講料 49,680円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,280円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

●プログラム

【受講対象】

英語でのプレゼンテーション・学会発表などを予定している方
英語での製品(商品)・システム・プラント・装置などの説明の機会が
おありの方
英語プレゼンテーションの実践的なスキルを身に付けたい方

【予備知識】

上記対象者であれば専門知識は特に必要ございません。
講座は日本語で行われるので、大学以上の高度な英語知識も必要
ございません。

【習得知識】

有効なプレゼンの基礎・英語プレゼンの練習法・英語発音の磨き方・
プレゼンの評価法

【講師の言葉】

理工系の人間は企業内外・国際学会等で英語プレゼンをする機会が
多く、グローバル社会の普及により、英語プレゼンは更なる重要な技能
になりました。一方、プレゼン指導を受けていない技術者が多く、英語
プレゼンが苦手と思う方々が多いのではないのでしょうか。この講座では、
プレゼンの苦手意識を一掃し、不得意と思う方々も自信を持って、有効な
英語プレゼンができるよう指導致します。説明はすべて日本語で行いま
すので、安心してプレゼンの技能を磨く機会になります。

【プログラム】

I. 英語によるプレゼンテーションの基本原則

1. 技術者・研究者に必要なプレゼンテーションとは
～オーラルプレゼン・ポスタープレゼン・製品説明の特徴～

2. プレゼンテーションの利点と欠点
3. 成功への6つの鍵
～聴衆、目的、構成、流れ、スタイル、デリバリー～
4. プレゼンテーション演説法
～スクリプトの読み、スクリプトの暗記、ポイントによる演説～
5. 英語によるプレゼンテーションの基本的な考え方
 - a) 世界のプレゼンテーションの共通点
 - b) 欧米人と日本人のプレゼンの違い
 - c) 英語によるプレゼンテーションの特徴
～声、視線、手の動き、体の動き、スライドデザイン～
6. プレゼンテーション実践: 印象に残る自己紹介
 - a) 恐怖感とアガリをコントロールするには
 - b) ユーモアとジョークはどのように盛り込むか

II. 技術系の英語表現とプレゼンテーションでの使い方

1. 技術系プレゼンテーションの構成
 - a) Introduction → Outline → Body → Summary → Q&A
 - b) 現状 → 問題 → 対応 → 評価
 - c) 一般論 → 具体論
 - d) 過去 → 現在 → 未来
2. 技術系の英語表現
 - a) 「イントロ」の言語特徴
 - b) 「概要」「サマリー」の言語特徴
 - c) 「ボディー」「移り変わり」の言語特徴
 - d) 方法と過程の説明
 - e) 単位・数量・数式・記号の読み方・表し方
 - f) 図、表、グラフなどの説明の仕方
3. 英語でのプレゼンテーションデリバリー
 - a) スピード調整
 - b) 強勢とイントネーションのコツ
 - c) 発音: 和製英語から脱出
 - d) シェドーイングの練習法

III. 英語プレゼンテーションの実際

1. 視覚機器の効果的な使い方
 - a) 準備! 準備! 準備!
 - b) パソコン、プロジェクター、ビデオ、ポスターのよくある問題
 - c) オーラルプレゼン・ポスタープレゼンの作成ポイント
2. Q&A対策
 - a) 日本人と欧米人の質問の仕方の違い
 - b) Q&Aの準備ポイント
 - c) 質問の内容が理解できない時
 - d) 自分が答えられない質問がきた時
 - e) 質問の内容に明らかに敵意が感じられる時
 - f) 全く質問が出ない時
3. 英語プレゼンテーションの実際例

IV. 質疑応答・ディスカッション

— 名刺交換会 —

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20150403.html>

□ ■ _____ ■ □
新規取り扱い書籍情報(15タイトル)
□ ■ _____ ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にご覧いただけますURLにて
ご案内致しております。

----《 エネルギー 》-----

蓄電デバイスの今後の展開と電解液の研究開発
<http://www.tic-co.com/books/2014t955.html>

自動車排熱回生技術
<http://www.tic-co.com/books/14stm020.html>

バイオ水素とキャリア開発の最前線
<http://www.tic-co.com/books/2015t966.html>

----《 新材料・新素材 》-----

フッ素製品市場の動向と展望
<http://www.tic-co.com/books/2015z204.html>

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の開発と市場
<http://www.tic-co.com/books/2015s798.html>

透明ポリマーの材料開発と高性能化
<http://www.tic-co.com/books/2015t962.html>

----《 エレクトロニクス材料 》-----

次世代プリントエレクトロニクス技術
<http://www.tic-co.com/books/2014t957.html>

----《 食品関連 》-----

発酵・醸造食品の最前線
<http://www.tic-co.com/books/2015t961.html>

食品ハイドロコロイドの開発と応用II
<http://www.tic-co.com/books/2015t958.html>

食品分野における微生物制御技術の最前線
<http://www.tic-co.com/books/2014t956.html>

----《 医薬品・先端医療関係 》-----

医薬品LCM延長戦略事例・判例のウラ側と見落としがちな権利化の穴
<http://www.tic-co.com/books/15stp092.html>

進化する医療用バイオベースマテリアル

<http://www.tic-co.com/books/2015t960.html>

機能性デオドラント製品の開発と市場

<http://www.tic-co.com/books/2014s796.html>

非侵襲的検体検査の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2015t959.html>

薬用植物・生薬の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2014t952.html>

□ ■ ————— ■ □
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング
□ ■ ————— ■ □

2015年 1月 1日から 2月28日までの2ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数ランキングを挙げてみました。

…………… ★ セミナー ランキング ★ ……………

第1位 ー電気器材を実際に触れて理解を深めるために受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えたー『現場で役立つ電気の基礎知識』
～専門外の方のための～
(2015年2月12日(木)開催)
<http://www.tic-co.com/seminar/20150201.html>

第2位 『地熱発電と地熱バイナリー発電(温泉発電など)の支援・導入促進と各種要素技術開発動向』
～温泉発電導入促進、地熱発電導入拡大支援から、不確実性への対応留意点、小型バイナリー発電装置、地熱発電所の建設(計画から建設事例まで)・性能管理、ハイブリッド熱源高効率発電技術、蒸気タービン性能・信頼性向上技術まで～
(2015年2月24日(火)・25日(水)開催)
<http://www.tic-co.com/seminar/20150217.html>

第3位 『LNG船／燃料船の開発と要素技術動向』
～船舶技術開発、バンカリングの最新動向、エンジン・排熱利用・冷熱回収システム等要素技術～
(2015年2月26日(木)開催)
<http://www.tic-co.com/seminar/20150210.html>

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201503S.html>

今回は第3位に

『LNG船／燃料船の開発と要素技術動向』

がランクイン。

近年、LNGの需要増、環境規制の強化、シェールガス革命そしてパナマ運河拡張による海上輸送ルートの多様化を背景に、LNG船・LNG燃料船の技術革新が急激に加速していて、その技術開発動向に関心が高まっていることがうか

がえます。

2015年4月23日(木)に関連セミナー

『LNG受入基地の設備・運用及び相馬LNG建設工事と
FSRUを含めた設備・装置・要素技術開発動向』

を開催します。

詳しい内容は

<http://www.tic-co.com/seminar/20150419.html>

をご覧ください。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆

第1位 『エネルギー・化学プロセスにおける膜分離技術』
<http://www.tic-co.com/books/14sta110.html>

第2位 『2015年 水処理・浄化・水ビジネスの市場・企業・技術』
<http://www.tic-co.com/books/2014s797.html>

第3位 『太陽熱発電の最新動向』
<http://www.tic-co.com/books/2014t954.html>

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201503B.html>

第3位に『太陽熱発電の最新動向』がランクイン。

2030年の世界市場は約8兆円、海外市場の成長に伴い日本企業の参入が
加速することが予想される太陽熱発電。

その最新動向を網羅した内容に関心が高まっています。

2015年4月22日(水)に関連セミナーとして

『集光型太陽熱発電(CSP)の要素技術と開発動向』

を開催します。

詳しい内容は

<http://www.tic-co.com/seminar/20150417.html>

をご覧ください。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■
E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス
★ 新E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。
※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。
お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □
雑記帳
□ ■ _____ ■ □

「蛙(かえる)」

古池や蛙飛こむ水のおと(蛙=かわず)
松尾芭蕉(まつお ばしょう) (1644-1694)

瘦蛙まけるな一茶是に有(瘦蛙=やせがえる、是に有=これにあり)
小林一茶(こばやし いっさ) (1763-1828)

はどなたでもご存知の句ですね。

3月6日の啓蟄(けいちつ)から2週間。

冬ごもりしていた蛙も地中からはい出てくる季節です。

貝原益軒の『大和本草』によれば「かえる」の名は他の土地に移しても必ず元の所に帰るといった性質に由来していると記述されています。

日本において、蛙は棲息するのに好条件な水田や水辺が多かったことから日本人にとってとても身近な存在でした。

音楽や絵画に蛙をモチーフにした作品が多くあります。

漫画のルーツ、鳥獣戯画には人間に擬せた蛙が描かれ、蛙を主人公にしたアニメ『ど根性ガエル』や『ケロヨン』が人気を博しました。

また童謡には『かえるの合唱』や『おたまじゃくしはカエルの子』があります。

今回はそんな日本人にとって親しみ深い「蛙(かえる)」についてのおもしろ豆知識をお届けします。

こちらから↓

<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201503.html>

□ ■ _____ ■ □

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com